

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	町田市立小川小学校			代表者名	星 彰
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	小学校	連絡先電話番号	042-795-0002
担当者役職	副校長	担当者氏名	大谷 千尋	連絡先E-mail	
住所	194-0003 東京都町田市小川3-10-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	テキストプログラミング推進のための指導力向上
概要	児童の自己調整力を高めるため、テキストプログラミングの指導力向上にも力を入れている。ICT活用に関する助言・支援をいただき、ICT活用の中核を担える教員の育成を目的とする。		
支援を求める分野	人材（外部人材活用） 計画策定支援 教育情報化／情報教育		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年6月19日	支援・助言(実地)	10時00分	15時00分	
				活動時間（分）	300
2-2. 派遣場所	会場名	町田市立小川小学校		最寄駅	成瀬駅
	所在地	町田市小川3-10-1		最寄駅からの交通手段	徒歩またはバス（小川小学校前）

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	松田 孝
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	今回の第2回指導では、前回の実践を踏まえた上で、児童のつまずきやすいポイントへの対応法や、個々の理解度に応じた具体的手法、低学年児童でも理解しやすい指導の工夫など、より実践的かつ発展的な助言をいただいた。また、児童の主体性を引き出す問いかけや、達成感を感じさせる課題設定についても新たな視点からご示唆をいただいた。これにより、教員の指導力向上とともに、児童一人ひとりに応じたきめ細やかな支援が可能となり、より質の高いプログラミング教育の実現に向けた大きな一歩となった。
アドバイザーへの要望事項	次回は低学年の指導を踏まえたうえで中学年の指導を行うので、継続的な指導・助言をいただきたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	30人
	属性 自治体職員 住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	30		

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	今回のご指導は非常に実り多いものであり、教員一同大変参考になった。その一方で、限られた時間の中での指導であったことから、プログラミング等が苦手な教員が理解を深める時間が十分に確保できなかった場面もあった。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	派遣講師から得た実践的な指導法を校内で共有し、教員間での学び合いを推進する。また、単なる知識や操作の習得ではなく、「なぜそのプログラムが必要なのか」「どう改善すればよいか」といった思考を促す問いを授業に取り入れ、児童の主体的な学びを促す授業の工夫をする。最終的には低学年から高学年にかけて、系統立てたプログラミング教育の流れを構築したい。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	・教員向けにテキストプログラミングの基本的な指導方法に関する研修の実施 ・授業を行って感じた低学年児童のつまずきやすいポイントや、それに対応する声かけ・課題設定の工夫	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	・教員の指導に対する不安や戸惑いが軽減され、授業に自信をもって臨むことができるようになった。 ・テキストプログラミングの指導を、スムーズに、より発展的に展開することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	②事業に係るシステムを構築できた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	・限られた時間の中であり、まだまだお聞きしたいことはあったので、今回も次回に持ち越しとなっているが、教員の学びたいという欲求が高まっているので、最後の派遣の際に学ばせていただきたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
4ー3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
4ー4. 事業の最終的な目指す姿	教員が1年間で児童にどのような力を身に付けさせたいか、身に付けられるかを検討し、本校としてのテキストプログラミングの年間指導計画を完成させ、本校の中心的なカリキュラムの一つとする。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
掲載許可	☐ 掲載可	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

